

夏期の高温に強い夏秋スプレーギク 「佐賀SK36号」「佐賀SK37号」を開発しました

近年の夏期の猛暑により、キク栽培では開花遅延や奇形花の発生などの高温障害が問題となっていたため、これらの障害が発生せずに安定的に開花するスプレーギクを開発しました（令和7年6月に品種登録出願公表）。



佐賀SK36号

出願公表 第37879号

- レモンイエロー
- シングル咲き
- やや剣弁
- 催事用向き



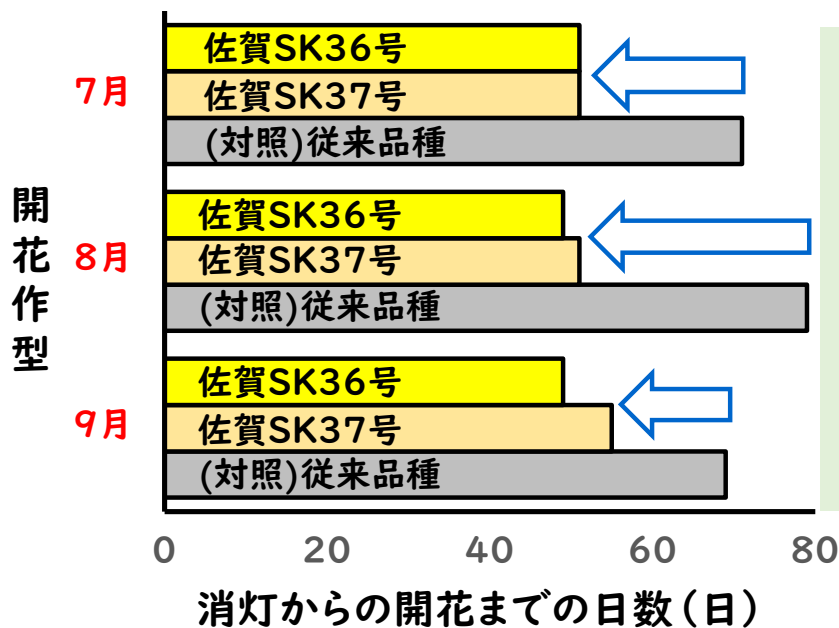
佐賀SK37号

出願公表 第37880号

- 濃黄色
- 小輪多花
- 小ギクの代用可
- 量販店向き

★「佐賀SK36号」「佐賀SK37号」の特長

★ 高温下でも開花遅延しない



- 消灯後7～8週で開花
👉 計画生産に有利
- 7月～10月上旬まで導入可能
👉 使用品種減による経費節減
- 電照のみで開花調節が可能
(シェード施設は不要)
👉 露地栽培への期待

★ 奇形花の発生が少なく、フォーメーション(草姿)がよい

★ 今後の取組

県内7か所で行った現地実証試験でも開花遅延や奇形花の発生がみられず高評価であったことから、種苗供給を開始し、普及に向けて現地で取り組む予定です。

野菜・花き部 花き研究担当

☎0952-45-2143 ✉nougyoushikensenta@pref.saga.lg.jp